

「使用上の注意」改訂のお知らせ

睡眠導入剤

向精神薬（第三種）、習慣性医薬品^{注1)}、処方箋医薬品^{注2)}

トリアゾラム錠

トリアゾラム錠 0.125mg 「日医工」

トリアゾラム錠 0.25mg 「日医工」

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
富 山 市 総 曲 輪 1 丁 目 6 番 21

注1) 注意－習慣性あり

注2) 注意－医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜改訂内容＞（ ：自主改訂）

改訂後	改訂前																			
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.3 省略（変更なし） 2.4 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシスタット含有製剤、エファビレンツ、セリチニブ、ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブ 2.5 省略（変更なし）	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.3 省略 2.4 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシスタット含有製剤、エファビレンツ、セリチニブ 2.5 省略																			
10. 相互作用 本剤は主として薬物代謝酵素 CYP3A4 で代謝される。 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>省略（変更なし）</td><td colspan="2" rowspan="2">省略（変更なし）</td></tr><tr><td>セリチニブ（ジカディア）</td></tr><tr><td>ツカチニブ エタノール付加物（ツカイザ）</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがある。</td><td rowspan="2">これらの薬剤が CYP3A を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される可能性がある。</td></tr><tr><td>ロナファルニブ（ゾキンヴィ）</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、過度の鎮静や呼吸抑制が発現するおそれがある。</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略（変更なし）	省略（変更なし）		セリチニブ（ジカディア）	ツカチニブ エタノール付加物（ツカイザ）	本剤の血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される可能性がある。	ロナファルニブ（ゾキンヴィ）	本剤の血中濃度が上昇し、過度の鎮静や呼吸抑制が発現するおそれがある。	10. 相互作用 本剤は主として薬物代謝酵素 CYP3A4 で代謝される。 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>省略</td><td colspan="2" rowspan="2">省略</td></tr><tr><td>セリチニブ（ジカディア）</td></tr></table> ←追記	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略	省略		セリチニブ（ジカディア）
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
省略（変更なし）	省略（変更なし）																			
セリチニブ（ジカディア）																				
ツカチニブ エタノール付加物（ツカイザ）	本剤の血中濃度が上昇し、副作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される可能性がある。																		
ロナファルニブ（ゾキンヴィ）	本剤の血中濃度が上昇し、過度の鎮静や呼吸抑制が発現するおそれがある。																			
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
省略	省略																			
セリチニブ（ジカディア）																				

<改訂理由>

- ・相互作用相手薬の「使用上の注意」との整合を図るため、**2. 禁忌**及び**10.1 併用禁忌**に「ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブ」を追記しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ[®]」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

トリアゾラム錠「日医工」



今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.347」(2026 年 8 月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載されます。